

## 東京地下鐵道

### 初乗の印象

鐵道技術師 田中孝平  
東京市囑託

自分は過日、只一回「御上りさん」の群に揉まれて、數分間を、地下鐵の世界に、過した經驗があるばかりで、今度の東京の地下鐵に關しては、何等技術的智識がなく、技術者としての、感想を請はれても、之に答へる、資格は全くないのであるから、一乗客としての側面觀を申述べて、責をふさぐの外はない。

素より自分も、全部の東京市民と同じく、地下鐵の熱心なる、讚仰者の一人で、其の利益、其效能を、稱揚することに於て、人後に落つるものではないが、讚美の言葉は他の方々に譲り、自分が東京鐵道局の電車掛長として、類似の業務に、従事した經驗から、氣付いた二三の點を舉げて、感想にかへることにした、幾分惡口に類する點もあるが、之れも將來に於ける、地下鐵の完美を、希求する一念から出たのである、徒に「あら探し」をして憎まれ口を叩いて得々たるものを、考へて頂きたい。

#### 地下鐵も乗客吸引を策する 必要がある

地下鐵は、其速度に於て、其輸送力に於て他の追従を許さない點があることは、事實である。しかし倫敦に於ける乗合自動車の跋扈の状態を見、伯林に於ける路面電車活躍の有様を考へるとき、地下鐵も、其機能の優秀さにのみ自負して、永く桃源の夢を貪ることを許されるものではない、宜しく地下鐵が他の地上交通機關に一籌を輪する、乗つたときの不快さを、出来るだけ減じて、乗客を他の競争機關に奪はれぬ様、始めから深甚の考慮を拂ふべきである。

客が不快感を抱く、最大の理由は、地下に

潜り込むといふことであるが、一體地下といふ言葉其のものが、直に汚穢、陰濕、暗黒、陥没、危険なきといふ、厭な聯想を伴ふもので、地下鐵に相當永き歴史を有する、都市の充分之に乗り慣れた市民でありても、若しも地下鐵に代るべき、他の機關があるなら、出来るだけ地下鐵に乗りたくないといふ、心理状態にあることは、夫等の都市に永住する人々この、會話の一端にも看取されることであつて、地下鐵の建設に當り、客が第一回の乗車經驗で、斯ういふ聯想から導かれた、不快な豫感を、打ち破られて仕舞ふことを、目標として、其構造を工夫することが、最も必要のことに思ふ。

#### 藝術的價值よりも綺麗さ

先づ第一に、汚穢感不潔感を一掃するため、客の眼に觸れる部分はすべて綺麗でありたい。そして客は構造物を數尺又は數寸の距離から見る機会が多いのであるから全體としての調子より部分部分に磨きのかつた綺麗さを具へる様でありたい。倫敦の「ベーカー」系統が乗降場を純白の「タイル」で圍み電車を眞白に塗つて居るなきは趣味としての批判は別として確かに良い感じを與へて居る上野の粗面煉瓦張り、淺草の緒色塗りなきは此の意味からしてももう少し研究の必要があるのではなからうか。

#### 地下の日中感よりも地上の明夜感

日光の入りぬ地下の世界を、人工照明で地上の日中と同じ様に感じさせることは、困難であらう。寧ろ燈火の美を充分發揮させて、華やかな、夜の衢の感じを出させた方が、氣持よくはあるまいか。間接照明、半間接照明

の應用に大なる苦心を拂はれたことは、認めるに吝ではないが、光源が明かでないためか何さなく神秘的で、不氣味であることは免れない。又燈器の構造上（間接又は半間接照明であるために）照明能率低く、光源から計算すれば、床上四呎の場所で、四呎燭火さなるかも知れぬが、非常に薄暗い。或人が、蠟燭で照された、洞窟に入つた感があるを評したのに、遺憾ながら共鳴せざるを得ない。工事未完成の部分で假に取付けてある直接照明燈の、如何に對比上氣持よく感ずるかを實驗され、丸ビル地下室の、少しも不氣味な感じがない點を参考されて、今後の延長線の照明を研究されることは客の快感を増す上にも、諸外國では經營困難なものさされて居る、地下鐵の營業費節約の上にも相當の効果を齎すのではあるまいかと思ふ。

#### 力を表現した構造が必要

地下鐵の構造が、堅固不比ださいふことを構造の線によつて示すことは、客の不安感を減ずるに、與つて大に力あることである。此の點から見て、如何に藝術的價値が高からうとも、不安全感を與へる構造線や、脆弱な感じを與へる器具は、使用せぬが良い。現在各驛の博覽會式構造や、今にも落ちさうな

燈器などは、地下鐵に對しては考へものゝ様に思はれる。

#### 大混雑を豫想する必要がある

地下鐵の利用者は將來必ず激増するが、其の場合、殺到する客に對應して、通路乗降場等を擴張することは、容易でない。客は狭い場所の中に、大密度で移動するものさ見ねばなるまい。工事未完成の今日、通路其他の配置の適否は分らぬが、通路の構造には、今一段の研究が必要の様に思はれる、即客が乗降場又は階段の壁に、一様に押付けられて移動する様な場合を想像するに現在の妙な突出物があつたり、表面が粗雑であつたり、手摺が煉瓦壁に近過ぎたり、壁の角々は盡く丸みが付けてない構造では、客の機敏な動作を妨げるばかりでなく、着物を破り、手を摺り剥き苦情百出さいふ結果さなるだらうと思はれる

#### 乗務員の教養は忽せにならぬ

開業前の乗務員の訓練には、随分骨を折られたことは聞いて居つたが、乗つて見るに乗務員の操作、機器の取扱方に粗暴なものを見掛ける、今のうち充分矯正に努められぬさやがて之れが將來の大事故の遠因さなる虞がある、地下鐵の名聲、信用確保のために此點にも充分意を注がれる必要があると思ふ。

## 東京地下鐵道所感

東京府土木部  
技術課長 藤田周造

まづあれで見本にして結構なんでせう然しあんなに短距離では利き酒でもしてゐる様で、物足りない感があります、益々延長して陶然とした酔心地を味ひたいと思ひます、何さか云ふ最新式を稱するあのグルグル廻るもの、あれは何さか出来ませんか、田舎者はまごつきますねまごつくものは永久不滅だと思ひます、あれがよくなれば先づ黒松の白鷹を云ふ所でせう。

安田保善社會社部長 丹治經三

細く見ないから局部的には分らないが、感じは非常にいい、あゝいふものは得て華美に流れ易いがそんな所はちつともなく、さりとして手を抜いた所もない、必要以外は一錢も冗費を使はぬことが技術家の精神ださ全くそれに當てはまつてゐる。照明がよい、あれならば紐育の地下鐵道よりも餘程いい、新古の程度はあるが——。輸送を迅速にするのが地下鐵の本質だからあれだけでは勿論地下鐵の價値は出ない。現在は見世物的だ、が會社としては當分あれでかなりの収益が擧るだらう、あの短距離に停留所が中に二つあつたと思ふが將來延長されればあれは撤廢さるべきだと思ふ。